



株式会社助六園のミニトマトハウス(右:代表者、左:従業員)

## 経営概要

- ◆ **代表者、所在地**  
工藤光、岩手県滝沢市
- ◆ **設立年**  
令和5年2月
- ◆ **経営規模**  
露地野菜(作目名 ねぎ、スイートコーン) 600a、  
施設野菜(作目名 ミノトマト) 10a、漬物加工
- ◆ **従業員数**  
正社員1名、パート・アルバイト6名
- ◆ **事業内容**  
農産物の生産、JA出荷、スーパーへの納品に取り組む。

## 1 現状及び相談内容

相談時は個人の農業者として、複数の従業員を雇用しながら、園芸(露地、施設)を中心とした経営を行っていた。

経営拡大の意向と併せて法人化を検討していたことから、関係する**税務や就業規則の作成、人的資源活用について**、令和4年6月に**専門家派遣の希望**があった。

## 2 支援内容

農業改良普及センター、市、JAで構成する**現地支援チームによる経営改善の相談**、中小企業診断士による**経営診断**や、法人化に向けた税理士による**資産譲渡や貸借等の税金に関する助言**、社会保険労務士による**就業規則の策定指導や労務管理関係の改善などに関する助言**を実施した。

## 3 人材の確保・育成に資する取組

★就業規則を整備するとともに、変形労働時間制や従業員のキャリアアップ支援を導入することで、子育て世代の従業員も働きやすい職場環境を実現

### ■ 人事・労務管理から人的資源活用

従業員の雇用管理についてアドバイスを受けながら、**人材確保・育成や評価、キャリアアップなど、人的資源活用の理解を深める**ことができた。

今後、**目標設定や面接、キャリア開発等の人材育成を行い、従業員の自己実現と法人の発展**を図っていく。

### ■ 子育て世代など多様な担い手の確保

**正規従業員の他、子育て世代等のパート従業員**も複数名雇用しており、**それぞれに対応した就業規則を整備**し、随時見直しを行っていく。

作目毎の繁忙期や多様な勤務形態等に対応できるよう、社会保険労務士の指導を受けて**変形労働時間制の活用を計画**している。

### ■ 雇用者の作業能力向上に向けて

各作業の作業効率アップに向け、**作業手順書の作成や業務指示の仕組みの改善**に取り組んでいる。



法人と社会保険労務士との相談の様子

### 今後の意気込み

経営規模拡大と人材育成のバランスを取りながら、着実な企業成長につなげていきたい。

また、このような事例となることで、同市内で他の経営体の法人化や雇用の推進への波及効果を期待したい。

### 専属スタッフ所感

就業規則の整備、変形労働時間制の導入、作業能力向上等の取り組みによって、従業員の方々が「働きやすい」とか「自分が成長している」と感じ取れる職場環境を実現されることが期待されます。